

平成 18 年 11 月 25 日

県内市町村長 様

(社) 秋田経済同友会
代表幹事 佐藤暢男
伊藤碩彦
御牧平八郎

松枯れ対策の強化のお願い

謹啓 秋冷の候、貴職におかれましては、地域発展のために粉骨ご努力されておられますことに、敬意を表するしだいです。

さて、私ども社団法人秋田経済同友会では、県内海岸部における松くい虫による松枯れ被害の拡大を憂慮し、「秋田のみどり再生運動」に着手して3年目を迎えました。一部地域では、関係機関と住民の理解を得て、枯れ木の伐倒、新たな植樹を進めております。また、県民各位からは「みどり再生募金」へのご協力をいただき、総額では4千万円を超えるに至りましたことは、嬉しい限りです。

しかし、最近では松枯れの被害が、沿岸部にとどまらず、内陸の各地へとさらに広がっている現状に、改めて心を痛めております。このままでは、秋田県の県土から美しい松林、松ノ木が一本残らず消え去るのではないかと危惧しております。

地方財政事情の極めて厳しい中ではありますが、貴職におかれましては、早急に地域の被害を再確認し、拡大防止対策の確立に、一段と力を注いでいただきたく、お願い申し上げます。

来春は、北秋田市で全国植樹祭が開催されます。森林や緑の運動に極めて関心の高い人々が、全国から集うでしょう。さまざまな樹種に囲まれた緑豊かな秋田の県土は、県民にとって大きな誇りであり、心の支えです。後世のためにも、今、手を

謹白